

事務事業名	75320 認知症サポーター等養成事業	予算科目	会計 介護	款 5	項 4	目 1	所管課 高齢者福祉課	担当班 高齢者班	
基本施策	26 地域包括ケアシステムの構築	根拠法令	介護保険法第115条の45第2項第6号					事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業（重点施策）重4
施策の展開	50 地域包括ケアシステムの体制づくり	戦略事業	232 認知症施策推進事業						<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画
施策の展開		戦略事業							<input type="checkbox"/> 新市建設計画
戦略事業		戦略事業							<input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想
		戦略事業							<input type="checkbox"/> 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 19 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる街づくりを目指す。 ・認知症の正しい知識を身につけ認知症高齢者やその家族を支える認知症サポーターの養成。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
認知症施策の推進については、従来は介護予防普及啓発事業の一環として行っていたが、平成27年度の介護保険法の改正に伴って認知症施策推進事業が地域支援事業に位置づけられた。	高齢化の進展に伴い、認知症高齢者のさらなる増加が見込まれることから、認知症に対する普及啓発、見守り支援の推進が必要となる。	認知症サポーター養成講座開催後にアンケートを実施。認知症の正しい知識が身に付いた、温かく接し、見守りたいと好評であった。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位:千円		② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位:千円						
1.報償金	0	1.国庫支出金	0	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
2.普通旅費	0	2.都道府県支出金	0	0	0	0	0	0
3.消耗品費	0	3.地方債	0	0	27	0	0	79
4.職員研修負担金	0	4.その他	0	0	0	8	0	0
				事業費計(A)	0	40	83	0
				1.国庫支出金	0	0	32	0
				2.都道府県支出金	0	0	16	0
				3.地方債	0	0	16	15
				4.その他	0	0	19	19
				5.一般財源	0	40	0	0

従事職員数 常時 1人 最大 6人 × 10日 = 延べ 60人

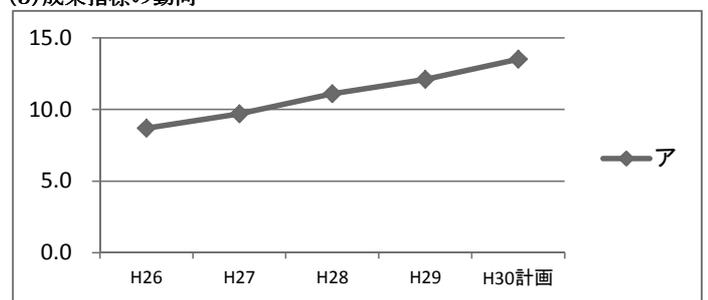
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 認知症に対する望ましい対応方法と知識について普及啓発の推進を図るため、民生委員、保健推進員、旭中央病院看護学生、小学生、企業等幅広く養成講座を実施した。講師となるキャラバンメイトの連絡会を開催し、自主活動の推進を図った。	⇒	ア 認知症サポーターの新規養成人数	人	504	227	280	222	300
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図 認知症高齢者や家族、関係者、一般市民 地域で認知症の方を見守り、支え合う体制ができ、認知症高齢者や家族が地域で安心して生活できる。	⇒	ア 高齢者に占める認知症サポーターの割合(認知症サポーター総数/65歳以上人口)	%	8.7	9.7	11.1	12.1	13.5

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	①	評価結果	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	普通			①	(1)	
	小さい			②		
				③		
				④⑤		
				⑥		
				⑦⑧		
				⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難									
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)										
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30計画
【コメント】 (低下の場合、その理由)				<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	成果動向	ア 2.6	イ 1.0	ア 1.4	イ 1.0	ア 1.4
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()				
	H31.3	認知症に対する望ましい対応方法と知識について普及啓発の推進を図るため、小学生を対象とした養成講座を実施する。			平成30年	認知症の正しい理解を広く周知し、認知症の方を見守る地域を目指すため、対象者を小中学生や企業へ拡大し実施するなど。サポーター養成講座の普及啓発を推進する。				